

大野市長 石山 志保

人口	28,764人 (R6.12福井県推計人口調査)
面積	872.43km ² (市域の約87%が森林)
高齢化率	38.5% (R7.1住民基本台帳)
ブランド・キャッチコピー	結の故郷 越前おおの
主な観光資源	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本一美しい星空 ● 天空の城 越前大野城 ● 九頭竜 恐竜・化石 ● 北陸最大級の道の駅「越前おおの 荒島の郷」

大野市の雪対策の取組と課題について

- ・大野市の寒候期の降雪量の推移
- ・雪対策に関する体制
- ・道路除排雪に対する住民ニーズ
- ・道路除排雪の担い手の確保
- ・道路除排雪経費の増加
- ・GPSによる道路除雪の管理
- ・大野市克雪市民会議の開催
- ・豪雪地帯安全確保緊急対策交付金を活用した取組

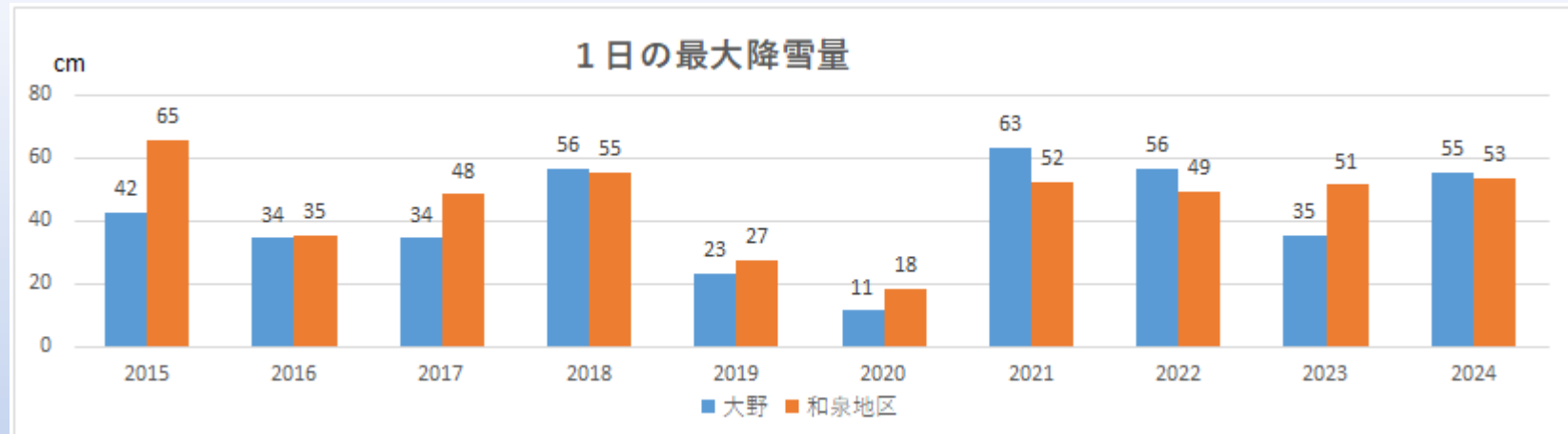
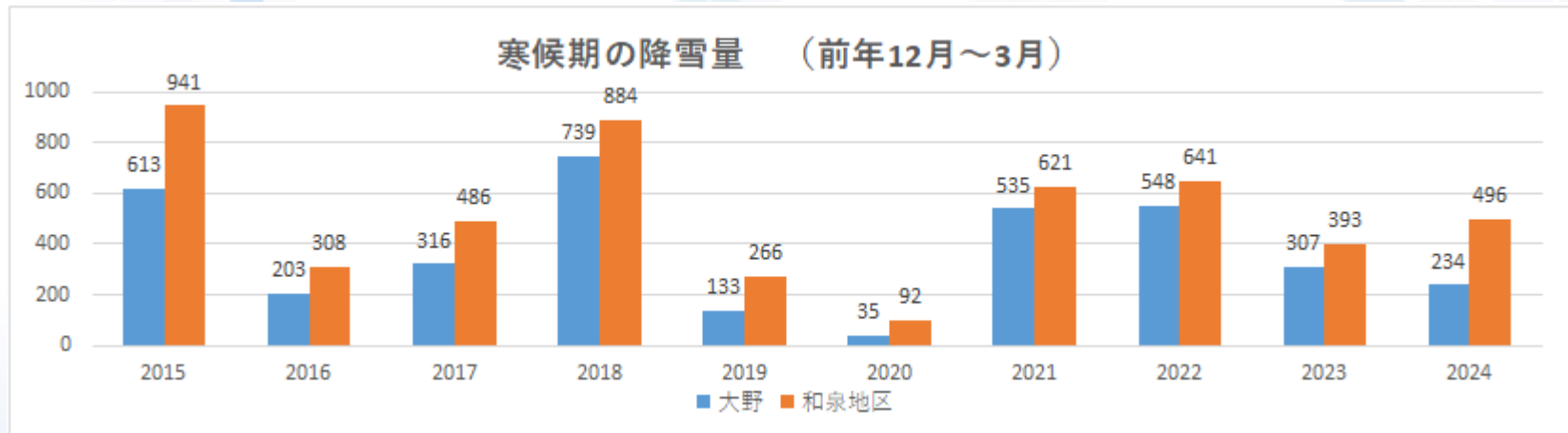
福井県大野市



全域 特別豪雪地帯、過疎地域

大野市の雪対策の取組と課題について

・大野市の寒候期降雪量の推移（H26年度～R5年度）



寒候期の降雪量は、年ごとに増減があるが、近年、1日で降る雪の量は、多くなっている。
（短時間に降る、いわゆるドカ雪が多くなっている。）

○顕著な大雪に関する福井県気象情報 4回発令あり

（2021：令和3年1月8日・9日 2024：令和5年12月22日、令和6年1月24日）

大野市の雪対策の取組と課題について

・雪対策に関する体制

除雪体制基準

除雪対応当番職員【夜間・休日等】

令和6年度 5班体制（4人／班）

・平常体制

新積雪深が10cmを超え、さらに降雪が予想される場合に除雪作業を平常体制として実施する

主に直営及び委託により、除雪計画路線の除雪を速やかに完了する

・警戒体制

積雪深が60cm～100cmに達した場合、降雪状況その他を勘案のうえ、警戒体制を決定する

平常体制での除雪を実施し、緊急体制への準備を行う

・緊急体制

大野市雪害対策本部が設置されたとき、緊急体制を決定する

警戒体制を続行するとともに、委託内容を変更し、緊急路線の交通確保を図るため排雪計画路線について、住民の協力を得て排雪作業を行う

大野市の雪対策の取組と課題について

・雪対策に関する体制

対策本部などの設置基準

・雪害対策本部設置基準

観測地点（大野市友江）における積雪が、150cm以上に達し、雪害が発生、もしくは予想される場合で市長が必要と認めたとき、または市長が特に必要と認めたとき

・豪雪対策本部設置基準

観測地点（大野市友江）における積雪が、200cm以上に達し、市長が必要と認めたとき

※基準には、達しないものの、災害が発生した場合や発生のおそれがある場合には、対策本部に準ずる体制として、雪害対策連絡室を設置する

大野市の雪対策の取組と課題について

・道路除排雪に対する住民ニーズ

特別豪雪地帯に指定された当市は、近年頻発する異常降雪に対し、人口減少・高齢化等の社会構造の変化も相まって、常に不安を抱いている。

そのため、住民から、迅速かつきめ細かな除雪の要望が強くなってきている。



車道除雪

積雪深が10cmを超え、さらに降雪が予想される場合

歩道除雪

通学路に指定されている市道の歩道上の積雪深が20cmを超え、さらに降雪が予想される場合

大野市の雪対策の取組と課題について

・道路除排雪の担い手の確保

建設事業者の廃業や、経営効率化により機械確保の困難化

オペレーターの高齢化、担い手不足の顕著化



当市の取組

- ・除雪体制の維持のため、異事業者の新規参入の促進
- ・免許取得・技能講習費用の補助

大野市の雪対策の取組と課題について

・道路除排雪経費の増加

労務・資材単価等が上昇し除排雪に係る経費が上昇

		平成29年度	令和6年度	
除雪ドーザ (13t級)	機械管理費(年間)	659,500円	907,000円	約40%増
	機械稼働費(時間単価)	19,300円	29,800円	約50%増

持続可能な除排雪体制確保のために

- ・防災・安全交付金の除雪事業に重点配分を
- ・市町村道除雪経費補助の臨時特例など追加措置を早期に
- ・雪寒指定道路以外の財政措置を

大野市の雪対策の取組と課題について

・GPSによる道路除雪管理

GPSによる除雪管理システム
を令和3年度から導入

- ・道路除雪の状況等確認
- ・民間委託業者への除雪経費の
支払の簡素化



作業日	2023/01/29	作業区分	除雪	大気	雪
工区		使用機械	ドーザー	7t	福井030さ8210 (持込)
応援工区	-	運転手			
	-	助手	---		

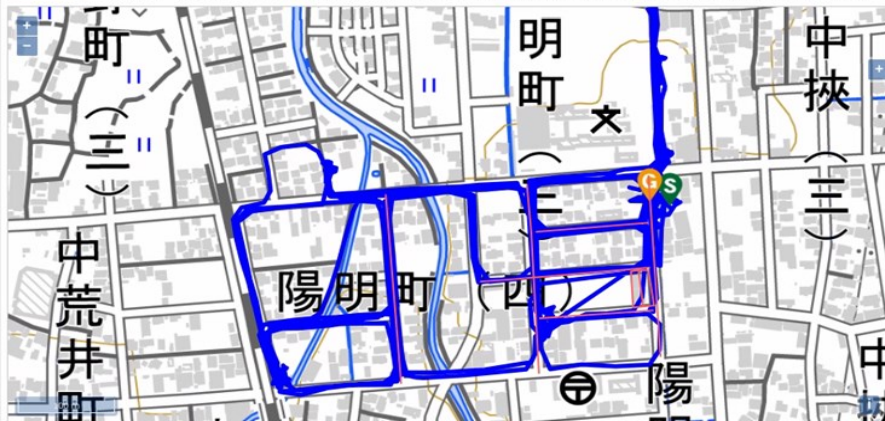
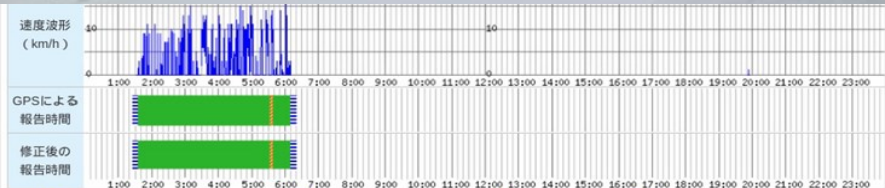
作業内訳							
	開始時刻	終了時刻	差	路線名	区分	備考	修正距離 [km] (参考)
1	-	-	0:10	(路線外)	暖機		-
2	1:36	4:34	2:58	陽明町	新雪除雪		-
3	4:34	4:42	0:08	北部児童センター駐車場	新雪除雪		-
4	4:42	5:33	0:51	陽明町	新雪除雪		-
5	5:33	5:38	0:05	(路線外)	回送		-
6	5:38	6:09	0:31	陽明町	新雪除雪		-
7	-	-	0:10	(路線外)	冷機		-

※修正されたデータは赤字で表示されます。
※備考欄 ... 区分を非稼働から稼働に変更すると赤背景になります。備考欄への変更理由の入力が必須となります。
※路線名 ... 路線で「路線外」を選択したまま、区分で稼働区分(新雪除雪・排雪等)を選択すると赤背景になります。
「路線外」以外の路線の選択が必要となります。

一 区分別集計						その他の時間	
稼働時間	日中	夜間	深夜	早朝	合計	休止	合計
契約路線内	1:04	3:24	0:00	0:00	4:28		0:00
契約路線外	0:05	0:00	0:00	0:00	0:05		
暖機冷機時間	0:10	0:10	0:00	0:00	0:20		
合計	1:19	3:34	0:00	0:00	4:53		

一 路線別集計					
路線名	日中	夜間	深夜	早朝	合計
陽明町	1:04	3:16	0:00	0:00	4:20
北部児童センター駐車場	0:00	0:08	0:00	0:00	0:08

+ 走行距離・注油量...



大野市の雪対策の取組と課題について

・大野市克雪市民会議の開催

■大野市克雪市民会議は、昭和56年「56豪雪」の教訓をもとに市民総ぐるみで雪を克服し、明るい雪国を築くため、雪対策の総合的推進を図ることを目的に設置された。

○毎年、降雪期前に区長と関係機関等で除雪体制や雪害時の対応などを再確認し、「大野市雪害対策計画書」を策定



大野市の雪対策の取組と課題について

・豪雪地帯安全確保緊急対策交付金を活用した取組（R3年度より活用）

・高齢者の除排雪中の死傷事故の発生

（R7.1.24時点）

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
23件	20件	4件	1件	5件

・屋根雪下ろし作業の担い手不足

・地域ぐるみでの除排雪作業団体の減少

・大野の雪質等にあった安全対策の検討



大野市の雪対策の取組と課題について

・豪雪地帯安全確保緊急対策交付金を活用した取組（R3年度より活用）

■地域安全克雪方針の策定

○令和6年5月「大野市地域安全克雪方針」を策定

■安全克雪事業

【高齢者等雪下ろし支援】

○高齢者世帯等の雪下ろしが困難な世帯に対して、「雪下ろし作業者名簿」に登録した団体等に委託した際に利用できるチケット(5,000円×3枚)を交付し、雪下ろし費用の一部を助成。

【地域ぐるみ雪下ろし支援】

○「雪下ろし作業者名簿」に登録して地域で雪下ろし等の除排雪を行う自治会に対し、活動費（保険料や燃料費、機材のリース料等）の一部を助成。(定額20千円/自治会)

○担い手の育成と確保のため、50歳未満の若者が地域ぐるみの雪下ろし作業に新たに参加した場合、1人1回当たり2,000円を加算する。

大野市の雪対策の取組と課題について

・豪雪地帯安全確保緊急対策交付金を活用した取組

■安全克雪事業

【雪下ろし作業者名簿の登録】

○「雪下ろし作業者名簿」を作成し、希望者へ配布

【除排雪資機材購入補助】

○「雪下ろし作業者名簿」に登録して地域で雪下ろし等の除排雪を行う自治会に対し、除排雪資機材の購入に要する費用の一部を助成。

■安全克雪事業（R7年度以降の新規事業 予定）

【屋根雪下ろし講習会の開催】

○雪下ろし作業者名簿登録者のほか、市民や若者を対象に屋根雪下ろし講習会を開催

【屋根雪下ろし手順書の作成】

○大野市の雪質に合った屋根雪下ろしの手順書を作成し、市民や雪下ろし作業者名簿登録団体へ配布